



ふくもっちゃんの部屋 ~朗読会~

みなさんは「ことのはの時間」を知っていますか？

西口ライブラリーでは図書館職員による大人のための朗読会を開催しています。

☆日時☆

年に4回、6月・9月・12月・3月に開催しています。
時間は午後2時半から40分程です。

☆開催場所☆

会場はコラッセ3階にある302会議室です。
場所がわからない際は図書館職員にお尋ねください。

☆定員☆

定員は15名、先着順です。事前申し込み・参加費は不要です。

☆朗読する作品☆

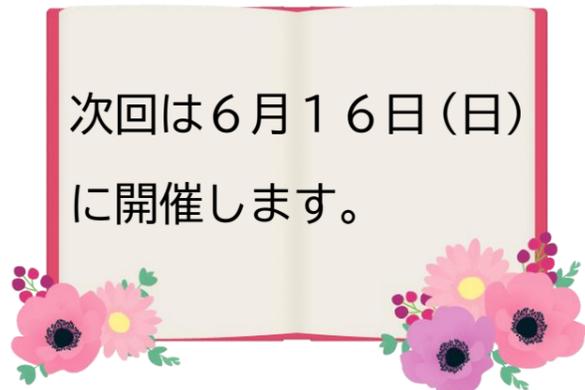
職員が選んだ作品を朗読します。

過去に朗読した作品例：「きつねの窓」
(安房 直子 著『でんでんむしのかなしみ』より)

「死んでたまるか」
(高峰 秀子 著『にんげんのおへそ』より)

「かけす」
(川端 康成 著『掌の小説』より)

次回は6月16日(日)
に開催します。



図書館カレンダー 5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

図書館カレンダー 6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

印は休館日

2024年5月1日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
Tel.024-525-4023

発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
Tel.024-531-6551

《図書館ホームページ》



福島市西口ライブラリー広報



西口ライブ発信

2024年
5・6月号

毎月24日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう！

新着本案内



『コーダ 私たちの多様な語り』

澁谷 智子 編

生活書院(369-コダワ)

聞こえない親を持つ、聞こえる子どものことをコーダと言います。時に通訳も担う彼らはヤングケアラーのように思われがちですが、その生活環境は様々です。本書では六人が、コーダであることで実際どんな事を感じていたのかを語ります。



『平安京は眠らない』

夏山 かほる 著

中央公論新社(PF-ナツヤ)

藤原道長の妻・倫子に仕える小姫は、「光る君」の物語を執筆し、評判となっている。しかし創作に行き詰まり、幼馴染の月乃の誘いでとある事件の取材を始めるが…。平安時代を舞台に、のちの紫式部が事件解決に挑んでいく。



『図解眠れなくなるほど面白い犯罪心理学』

越智 啓太 監修/日本文芸社(326-ズカイ)

犯罪者の行動や心理について科学的に分析する犯罪心理学。動機から見る連続殺人犯のタイプや最新のプロファイリング法など、複数の研究や実験データを挙げながら犯罪心理学を解説した入門書です。



『「人の期待」に縛られない

レッスン』

中島 美鈴 著

NHK出版(146-ナカシ)

他人の期待に応えようとして我慢ばかりしていませんか？ 認知行動療法に基づいて、思考のクセを変えることで、その状況を克服できるかもしれません。他人の評価に流されず自分らしく行動するための方法を紹介します。



『有名老舗の元職人が教える

はじめての和菓子作り』

伊藤 郁 著

KADOKAWA(596-イトウ)

基本のあんこをはじめ、ようかんや練り切りといった多様なレシピを掲載しています。

葛焼きを失敗しないコツはホットプレートで焼くこと、柏餅と桜餅は地域によって違うなど、職人の技や和菓子を楽しめるコラムも満載です。

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

小さきものの近代2 渡辺 京二 著/弦書房(210.6-ワタナー-2)	フェスタ 馳 星周 著/集英社(F-ハセセ)
アナーキー経営学 高橋 勅徳 著/NHK出版(335-タカハ)	憶 藤沢 周 著/春陽堂書店(F-フジサ)
新 NISA でつみたては会社員の最強アイテム 勝盛 政治 著/高橋書店(338-カツモ)	生きる演技 町屋 良平 著/河出書房新社(F-マチヤ)
いのちのそばで 徳永 進 著/朝日新聞出版(490-トクナ)	虎と兎 吉川 永青 著/朝日新聞出版(F-ヨシカ)
「電気回路、マジわからん」と思ったときに読む本 二宮 崇 著/オーム社(541-ニノミ)	下町やぶさか診療所 4 池永 陽 著/集英社(PF-イケナー-4)
身近な植物を活かすはじめてのドライフラワー 小林 みどり 監修/メイツユニバーサルコンテンツ(594-ミジカ)	嘘があふれた世界で 浅倉 秋成ほか 著/新潮社(PF-ウソガ)
鉢バラを楽しむ 後藤 みどり 著/池田書店(627-ゴトウ)	霧島から来た刑事 2 永瀬 隼介 著/光文社(PF-ナガセ-2)
日本の動物絵画史 金子 信久 著/NHK出版(721-カネコ)	なんちゃってホットサンド 小川 糸 著/幻冬舎(P914.6-オガワ)
基礎からレッスンはじめての韓国語 ちよん ひょんしる 著/ナツメ社(829-チヨン)	急がば転ぶ日々 土屋 賢二 著/文藝春秋(P914.6-ツチャ)
母を捨てる 菅野 久美子 著/プレジデント社(916-カンノ)	ザ・ロング・サイド ロバート・ベイリー 著 吉野 弘人 訳/小学館(P933-ベイリ)

作家と福(器)

宮沢賢治は詩の朗読に伴奏をつけるため、チェロを弾き始めました。本格的に勉強しようと上京までしていますが、実際に習ったのは三日間のみであまり上達はしませんでした。それでもチェロを自分の妻と紹介するほど愛着を持っていました。

また萩原朔太郎も、詩作と同じくらい音楽活動に励んでいます。熱心にギターやマンドリンの稽古をし、ついには地元の仲間たちと「ゴンドラ洋楽会」という楽団を作りました。自身で編曲や指揮なども行っており、その熱中ぶりが伺えます。ゴンドラ洋楽会は群馬交響楽団と名前を変え、今でも定期演奏会を開いています。

参考文献：『チェロと宮沢賢治』横田 庄一郎 著/音楽之友社(910.2-ミヤザ)

『萩原朔太郎大全』朔太郎大全実行委員会 編/春陽堂書店(911.5-ハギワ)



展示★名作案内

からだ ~一番身近な小宇宙~



『ねこはすごい』

山根 明弘 著

朝日新聞出版(645-ヤマネ)

後肢の強靱な筋肉と柔軟な背骨によって生み出される驚異的な瞬発力、空気の流れを感知し獲物の動きを把握するヒゲ…。あまり知られていないねこの能力や生態を、7年間ねこの研究に携わってきた動物学者が解明します。

可愛いだけじゃない！



『今夜もカネで解決だ』

ジェーン・スー 著

朝日新聞出版(673-ジエン)

体の不調はすべてお金で解決！？ ヒノキ酵素風呂にミネラル湯治、ダイエット鍼など、筆者が実際に体験したありとあらゆる健康法を語ります。クスッと笑えるエッセイ集です。総額いくら使ったのでしょうか？

金額ごとに章が分かれています。



『皮膚はいつもあなたを守ってる』

山口 創 著/草思社(141-ヤマグ)

顔をトントンとタップする、肌触りの良いタオルを使うなど。皮膚を介したセルフケアで、幸せホルモンを増やしたりストレスを和らげたりすることができます。多様な研究を取り上げながら、皮膚の役割や心身との向き合い方を伝授します。

皮膚に触れてストレスを解消しましょう



『病氣自慢』

玉村 豊男 著

世界文化クリエイティブ

(914.6-タマム)

大量の吐血、アレルギー発作、肝炎など、様々な病氣にかかり、十四回もの入院を経験した著者。しかし落ち込むことなく、自身の体を冷静に分析していました。当時の治療法を交えながら、明るく前向きに病氣と向き合う姿を綴ります。

改めて、自分の体を知って大事！



『わたしの身体はままならない』

石田 祐貴ほか 著

河出書房新社(369-ワタシ)

障害者やマイノリティに対して「よくわからない遠い存在」という認識を持つ人は少なくありません。実際の彼らは何を思い、どのように生活しているのでしょうか。全国8大学で行われた当事者による講義を書籍化しました。

「わからない」から一歩歩み寄る1冊です